



みのり

No. 101

発行日

令和2年11月25日

発行者

社会福祉法人 みのり村

印刷

株式会社 クリエイト

掲載内容

- 1 くるみん認定
- 2 巻頭言
with コロナ
- 3 ご利用者とスタッフの負担軽減に向けて
- 4 見える化への取り組み
働きやすい職場づくり
- 5 スキルアップ研修
わたしの職場リレー
- 6 今年のニューフェイス
- 7 収支決算
事業報告
- 8 お知らせ

子育てサポート企業として 厚生労働大臣認定“くるみん認定” を受けました



7月30日 大分労働局での交付式に参加

令和2年6月25日付けで“くるみん認定”を取得いたしました。今後もみのり村では働く子育て世帯を応援していきます。



経営理念

Management
Philosophy

花のように 優しく 誠実に

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし
地域・社会より愛され、認められる法人をめざし
社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

えむほガーデン・花壇



みのり村三重の塔



コロナ禍に思う

皆様、今回の新型コロナウイルス感染症は、「百年に一度の危機」などと言われているようですが、これは比喩ではなく、まさに百年に一度のパンデミック（世界的大流行）でしょう。ちょうど100年前には20年にかけて、世界を襲ったスペイン風邪があり、世界で4千万人以上の方が死亡しております。9月末現在、新型コロナウイルス感染症による死者が世界全体で100万人を超えました。まだまだ被害拡大の局面にあります。また、感染者は3300万人を超え世界保健機関（WHO）では、適切な対応を取らなければ死者は倍増すると警鐘を鳴らしております。

ところで、日本でも8月以降、死者数は増加傾向にあり依然気を抜けない状況が続いております。そうした中、各国政府は感染防止策と経済活動との両立を迫られ活動を始めております。今後も感染拡大が懸念されますが、例えば、検査体制の充実と併せて、浮き彫りとなった今後の課題の1つが高齢者介護への対応ではないでしょうか。国内のいくつかの地域では高齢者施設でクラスター（感染者集団）が発生したほか、在宅ケアの現場でも事業所が休止に追い込まれ、社会参加の機会を失った高齢者の状態悪化なども懸念されております。高齢者介護の教訓になった点として、労働集約的な介護現場はオンラインやリモートへの代替が困難な上、日常的なケアでも密閉、密集、密接の「3密」が生まれやすく、感染リスクが非常に大きくなります。さらに新型コロナウイルスの特徴として、多くの人が軽症者、無症状者にとどまる一方、抵抗力の弱い高齢者、障がい者、基礎疾患のある人が命を落とすケースが多いとされているのです。これからもコロナと付き合いながら更に感染症防止対策の徹底に努め、ご利用者の皆様が引き続き安心して日常生活がおくれるようにご努力をお願い申し上げます。

結びに、ただただ新型コロナの早期終息を祈るばかりです。

理事 田代重勝



守る

新型コロナウイルス感染症対策研修会を実施！ 主催 障害者支援施設白萩園

新別府病院の稲田感染管理認定看護師を講師としてお招きし、新型コロナウイルス感染症対策研修会を実施しました。研修会では、「障害者施設における感染対策」をテーマに感染予防の基礎知識について学び、個人防護具の着脱の方法や汚染物の処理方法等について確認しました。緊急時



20名のスタッフが参加しました



防護具の着脱方法の確認

でもご利用者の安全を守るため冷静に対処できよう努めてまいります。
(10月15日)

繋ぐ

リモートで面会を行っています！ 特別養護老人ホーム菩提樹

特別養護老人ホーム菩提樹ではご利用者のご家族の面会の際、リモートによる面会を実施しております。今年6月から開始した取り組みですが、毎月沢山のご家族にご利用いただいております。面会后、ご利用者のご家族からは「パソコン画面上だけど、久しぶりに家族と会えて嬉しかった」、「元氣な声が聞けて良かった」といった声もいただきました。11月末よりガラス越しでの面会も可能となりました。



LINEでつながり、ご家族と面会

備える

机上訓練を各拠点で実施 防疫体制の構築へ！

8月と9月の3日間に渡り各拠点部間で、新型コロナウイルス感染症対策の机上訓練を実施しました。訓練には、各部から管理者や支援員など各職種のスタッフが参加し、「新型コロナウイルス感染症が施設内で確認された」などの想定のもとグループワークで、新型コロナウイルス感染症の防疫体制を検証しました。

新型コロナウイルス感染症が国内で感染拡大する中、施設内への感染を防ぎ、ご利用者の健康を守ることが最優先課題であり、参加者全員、緊張感をもって訓練に参加しました。

平素から緊急時に備え、全職員一丸となり防疫体制を築いていきます。
(8月25日、28日、9月15日)



ご利用者とスタッフの負担軽減に向けて ～特別養護老人ホーム 菩提樹～

令和元年度大分県補助金事業

下記の事業にて助成を受けました。

大分県補助金事業	大分県ノーリフティングケア用福祉機器導入支援事業費補助金	大分県介護ロボット導入支援事業費補助金
製品名	跳ね上げ式車椅子 4台	離床アシストベッド リショネPlus 1台
補助金	246,000円	415,000円
導入経過後	当施設はノーリフティングケアに取り組んでいます。 この車椅子は肘掛けや足置きなどが取り外せるため、ご利用者は抱え上げられることなく乗り移りができます。 怪我や転落、転倒などの事故もとても少なくなりました。	このベッドは縦に2つに分割でき、そのままリクライニングの車椅子になります。ご利用者が不要な緊張を抱かず、また職員も抱えることが少なくなり、腰痛の軽減につながります。 ベッドから離れる回数の維持・増加により、他者との交流が増え、精神面の安定等にもなっています。



おおいたシニア雇用シンポジウム

主催：大分県シニア雇用推進協議会

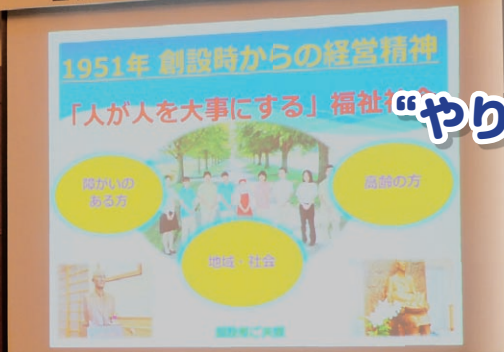
“見える化”への取り組み

“やりがい”が生涯現役で働く原動力

～おおいたシニア雇用シンポジウムで事例発表～

ホテル日航大分オアシスタワーにて、おおいたシニア雇用シンポジウムが開催され、みのり村 本部 松岡事務局長がシニア雇用の先進事例として、幅広い世代が活躍する「魅力ある福祉の職場」をテーマに生涯現役社会を目指す事例発表を行いました。

(2月13日)



魅力ある福祉の職場について発表

福祉サービス相談員会を開催しました

みのり村本部にて、令和2年度福祉サービス相談員会を開催しました。令和元年度に寄せられた各施設・事業所の相談事項などについて、相談解決責任者から第三者委員や利用者・保護者委員へ報告、多様な相談事例について情報共有や意見交換をしました。

(7月17日)



各委員との意見交換の様子

別府大学リモート講座「トップマネジメント講話」に講師を派遣

別府大学が主催する「トップマネジメント講話」に本部から講師を派遣しました。当日は『地域の課題解決に取り組む社会福祉法人』をテーマに、みのり村の事業内容や地域社会での役割などについてお話ししました。

今回で2回目の参加になりますが、今年は、新型コロナウイルスの影響により別府大学の教室からリモートで約240名の学生へ配信する形となりました。初めての経験でしたが、学生との意見交換はスムーズにできたように思います。

今後も様々な場面で情報発信を行い、社会福祉の啓発、みのり村の“見える化”に取り組んでいきます。

(7月1日)



リモート配信の様子

働きやすい職場づくり

“杵築市初”「おおいた働き方改革」推進優良企業表彰を受賞しました



働きやすい職場環境づくりや「働き方改革」に積極的に取り組み、優れた成果が認められる企業や法人に贈られる「おおいた働き方改革」推進優良企業表彰を杵築市の企業で初めて受賞しました。

ホテル日航大分オアシスタワーで開催

された表彰式では、大分県知事より表彰状を受け取りました。また、大木理事長が「みのり村の働き方改革」についてプレゼンテーションを行い、働きやすい職場への取り組みを紹介しました。

(10月6日)



受賞した企業の代表者
(大木理事長(左から2番目))

職場の安全衛生 ～みのり村安全衛生委員会を開催しました～

みのり村本部では、定期的に産業医の参加のもと、「安全衛生委員会」を開催しています。委員会では、職場の安全衛生に関して意見を交わし、新型コロナウイルス感染症防止対策などについて確認しています。

今後も、職場の危険や健康障害の防止に努め、スタッフが日々安全で健康的に働くことのできる職場環境の整備に努めます。



第19回

みのり村福祉QCC研究発表会開催



開会の挨拶をする大木理事長

杵築障がい福祉部
障害者支援施設白萩
園の地域交流セン
ターにて、約60名の
職員が参加し福祉Q
C研究発表会を開催
しました。今回は日
出支援学校校長、保
護者会会長、第三者
委員の3名をお招き
し、各部代表6グルー
プが日頃の研究の成
果を発表しまし
た。



最優秀賞チームの発表

日々の気づ
きを大切に
し、今後も職
員一同サービ
スの質向上に
努めてまいり
ます。
(2月21日)

施設・事業所名	チーム名	発表テーマ
障害福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」	TEAM 誠	顧客満足度の 向上に向けて
特別養護老人ホーム 菩提樹	あいユニット	活動的な毎日へ
障害福祉サービス事業所 みのりスマイル	ONE TEAM	交通安全に対する 取り組みについて
菩提樹デイサービスセンター	風と樹々と空と	ヒヤリとしたら 変化のチャンス
児童発達支援センター プリンちゃん	センター戦士 PURIN☆☆	みんなでおでかけ♪
障害者支援施設 白萩園	日中活動委員会	新たな楽しみを

最優秀賞

管理者向け研修を開催
「経営理念『人が人を大事にする』を学ぶ」
みのり村本部研修室にて、管理者を対象に、経営理念を学ぶ研修会を外部から講師を招き開催しました。村の理念について再確認した後、グループワークで、より一層理解を深めました。
研修を通して、みのり村の創立時の想いや信念などを改めて振り返り、法人の方向性を再確認できました。
(3月4日)



グループワークの様子

column わたしの職場リレー紹介 vol.2

障害福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」

～選んでいただける事業所であるために～

(ワークセンター「誠」尾花所長にインタビュー)

Q1 今の仕事の面白い部分は？

ご利用者の皆さまがワークセンター「誠」で「働く」ことを通して、自分の楽しみや、目的を見出していただくため、それぞれの個性にあった仕事を企画出来ることでしょうか。ご利用者が毎日元気に通い、笑顔で挨拶してくれると元気をもらいます。

Q2 今チャレンジしたいことを教えてください。

ワークセンター「誠」は、「選んでいただける事業所であるために」をスローガンに、日々新しい取り組みにチャレンジしています。

地域の方々や支援学校の生徒の「働く」場所として、年齢、障がい特性に関わらず個性を活かせる「働く」場所を創れたらと思っています。

Q3 ワークセンター「誠」を今後どう考えていますか？

障がいがある方の自立・地域参加に向けて今後も、「働く」場所をご利用者の皆さまと共に創り続けて行きたいと思っています。就労福祉サービスとして地域の多くの方々と共に歩んでいきます。

国道213号線沿いにある
「cafe m・歩つ」



レトルトカレーなどの加工品



季節のカレー



いち押し工房



ご利用者が安全に「しごと」ができるように地面の舗装工事をしました

次回は、
「児童発達支援センター「プリンちゃん」」です。

新人職員入村式 辞令交付

～新年度スタート～

みのり村本部にて、新型コロナウイルスへの対策を講じた上で、新人職員入村式を執り行いました。今年度は8名の新規学校卒の新人職員が飛躍を誓いました。

理事長より辞令が交付され、新人職員を代表して小川実紗さんから「何事にも誠実に取り組んで参ります。」と挨拶がありました。続いて、理事長より「一つ一つ着実に前に進んで行ってもらいたい。そして、3つをお願いがあります。はじめに「挨拶を習慣化してください。」次に「心身ともに健康第一でお願いします。」、最後に「何事も継続し、力を蓄え心を磨いてください。」と訓示がありました。

(4月1日)

新人職員代表者挨拶

8名の新人職員

ふくもと さちえ
福本 幸恵

- ◆配属先 白百合園
- ◆長 所 明るく、人見知り
をしない
- ◆マイブームは?
ドライブ

やまさき あい
山崎 愛

- ◆配属先 第2みのり学園
- ◆長 所 明るく前向き
- ◆マイブームは?
映画鑑賞

まつやま ゆう
松山 優

- ◆配属先 第2みのり学園
- ◆長 所 場の盛り上げ上手
- ◆マイブームは?
ドライブ

いしばし りょう
石橋 諒

- ◆配属先 白萩園
- ◆長 所 話の聞き上手
- ◆マイブームは?
アインシュタイン
(芸人)

新人職員紹介

あや ま な み
綾 真奈美

- ◆配属先 白萩園
- ◆長 所 笑顔
- ◆マイブームは?
映画鑑賞

ひらかわ あかね
平川 茜音

- ◆配属先 ワークセンター「誠」
- ◆長 所 まじめ
- ◆マイブームは?
動画鑑賞(youtube)

おがわ みさ
小川 実紗

- ◆配属先 菩提樹
- ◆長 所 真面目
- ◆マイブームは?
youtube鑑賞

わたなべ
渡邊かりん

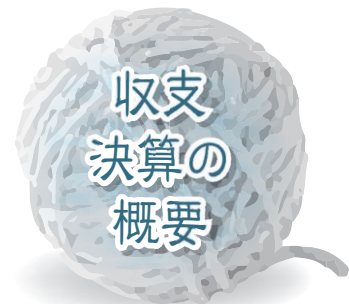
- ◆配属先 菩提樹
- ◆長 所 明るく、たくさん笑う
- ◆マイブームは?
飼い猫と遊ぶ

平成31(令和元)年度 収 支 決 算

貸借対照表の要旨		(単位：円)
科 目	金 額	
資 産 の 部		
流動資産	1,640,538,015	
固定資産	1,850,133,084	
その他の固定資産	2,648,914,638	
資産の部合計	6,139,585,737	
負 債 の 部		
流動負債	128,592,082	
固定負債	127,826,945	
負債の部合計	256,419,027	
純 資 産 の 部		
基本金	644,208,142	
国庫補助金等特別積立金	635,922,211	
その他の積立金	2,277,960,834	
次期繰越活動増減差額	2,325,075,523	
負債及び純資産の部合計	6,139,585,737	

事業活動計算書の要旨		(単位：円)
科 目	金 額	
増減 サービス活動	サービス活動収益	1,663,728,503
	サービス活動費用	1,414,587,338
	サービス活動増減差額	249,141,165
増減 サービス活動外	サービス活動外収益	16,707,145
	サービス活動外費用	938,920
	サービス活動外増減差額	15,768,225
特別増減	特別収益	2,303,000
	特別費用	8,536,948
	特別増減差額	-6,233,948
当期活動増減差額		258,675,442
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	2,205,273,363
	当期末繰越活動増減差額	2,463,948,805
	基本金取崩	0
	その他の積立金取崩	0
	その他の積立金積立額	138,873,282
次期繰越活動増減差額		2,325,075,523

資金収支計算書の要旨		(単位：円)
科 目	金 額	
事業活動による 収支	事業活動収入	1,680,435,648
	事業活動支出	1,313,913,600
	事業活動資金収支差額	366,522,048
施設整備等による 収支	施設整備等収入	2,303,000
	施設整備等支出	107,307,904
	施設整備等資金収支差額	-105,004,904
その他の活動による 収支	その他の活動による収入	0
	その他の活動支出	148,196,726
	その他の活動資金収支差額	-148,196,726
当期資金収支差額合計		113,320,418
前期末支払資金残高		1,464,151,416
当期末支払資金残高		1,577,471,834



- 〈平成31(令和元)年度決算概要〉
- 1. 法人全体のサービス活動収益は、前年度と変わらない比率となり、安定した福祉サービスを提供できた。
 - 2. 施設整備関係では、障害者支援施設白萩園の空調設備改修工事が完了した。
 - 3. 収入、施設運営について（前年対比）
 - (1) 障害者福祉サービス及び介護保険事業は、前年度と変わらない値で推移した。
 - (2) 就労支援事業は対前年度比5%減となった。
 - (3) 障害児入所施設第1みのり学園は、対象児童の減少により障害者支援施設へ移行した。

平成31(令和元)年度 事業報告書 (概要)

みのり村は福祉サービスの質を向上させるため、人材育成の「ひとづくり」と地域を活性化し地域力を強化していく公益活動「街おこし」に取り組んでいます。また、外部への情報発信を積極的に行うことで、地域・社会から認められる法人の実現を目指しています。

～社会貢献・地域貢献～

経済的困窮などを防ぐ目的で取り組んでいる「おおいた“くらしサポート”事業」や地域の暮らしを支える「クリーン活動」などは、地域住民の方の生活の一助となっています。さらに、地域交流行事を通して、ご利用者やご家族、地域の方など数多くの方と交流を図っています。

～福祉サービスの質の向上～

福祉サービスの質の向上を目的に開催している「みのり村福祉QC研究発表会」には、今回初めて福祉サービス第三者委員など外部の方に参加していただき福祉の啓発に努めました。また、ご利用者や職員の介護や支援の負担を和らげる「ノーリフティングケア」は日頃の高齢者ケアに浸透しています。さらに、介護ロボットなどの先進技術の導入や業務効率化を図る記録システムなどの更新を、今後も継続していきます。

～情報公開、広報活動～

令和元年度は、新たな情報発信ツールとしてホームページにリクルートサイトを開設すると共に、「シニア活躍企業ファイル」といった外部機関の広告媒体を利用し、法人の取り組みを積極的に発信しました。また「おおいたシニア雇用シンポジウム」にてシニア雇用の先進事例として当法人の取り組みを発表しました。その他にも、行政機関による視察や地域との交流イベントを通して法人の“見える化”に努めています。

令和2年度 人事発令

	新	氏 名	旧
発令	日出障がい福祉部 第2みのり学園、白百合園副施設長 兼みのりスマイル所長	古庄せつ子	みのりスマイル 所長
	日出障がい福祉部 地域支援課 課長	須賀 敏子	日出障がい福祉部 地域支援課 係長
	日出障がい福祉部 総務課 課長	土谷 淳子	日出障がい福祉部 総務課 係長
	杵築障がい福祉部 白萩園施設サービス課 課長	原田 順子	杵築障がい福祉部 白萩園 施設サービス課 係長
	高齢者福祉部 菩提樹施設サービス課 課長	笠置 幸子	高齢者福祉部 菩提樹 施設サービス課 係長
	高齢者福祉部 菩提樹施設サービス課 係長	柳 順子	高齢者福祉部 菩提樹 施設サービス課 看護主任
	高齢者福祉部 在宅支援課 兼地域支援課 係長	大塚 久美	高齢者福祉部 在宅支援課 主任
	高齢者福祉部 在宅支援課 主任	大畑由香利	高齢者福祉部 在宅支援課 リーダー
	高齢者福祉部 地域支援課 主任	高橋 晴子	高齢者福祉部 地域支援課
	杵築障がい福祉部 白萩園施設サービス課	原田ひろみ	高齢者福祉部 地域支援課
令	高齢者福祉部 菩提樹施設サービス課	山本 圭祐	日出障がい福祉部 第2みのり学園
	日出障がい福祉部 白百合園	鶴田 愛	同
	同	笠村 悠紀	同

日出障がい福祉部空調設備
改修工事が完了しました

(令和2年7月22日工事完了)



検査の様子

5年間
“まちかど交流サロン「福ろう」”
をご利用いただき
ありがとうございました。

事業運営期間：
平成27年4月～
令和2年6月



令和2年度 事業計画

「地域福祉を支える拠点法人としての基盤強化と情報発信」を事業目標に以下のテーマについて取り組みます。

- (1) 地域の福祉ニーズに応じていくための福祉サービス力向上。
- (2) 地域を支える公益的な取り組み推進。
- (3) 地域・社会から信頼される法人としての情報発信。
- (4) 福祉人材の確保・定着・育成の取組み強化。
- (5) 経営・組織管理（ガバナンス）の強化。

そして、村の特性を十分に活かし人事労務・財務・福祉サービスの品質管理等含めた経営管理の向上を図ります。

編集後記

大分空港が「大分宇宙港」になる—そんな夢のある話が進められています。今年の4月、アメリカの企業によって大分空港が小型衛星の打ち上げ拠点に選ばれました。大分県の新たな可能性に、県民としては興奮せずにはられません。いつか大分から宇宙へ衛星が旅立っていく日を夢見ています。

(広報担当)

編集・発行／本部人事企画課

〒873-0013 大分県杵築市大字日野1921の7
TEL 0978-66-1200 FAX 0978-62-2974
URL <http://www.minorimura.or.jp/>
メール info@minorimura.or.jp

※写真掲載等には、
ご本人の了解を得ております。

総合福祉ケアサポートセンター
みのり村

- 特別養護老人ホーム 菩提樹(個室ユニット)
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイ「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ぼだいじゅ
- ホームヘルプステーション ぼだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
- えむほ ガーデン(Café m・歩っ・えん)
- 障がい者支援施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障がい者支援施設 第2みのり学園
- 障がい者支援施設 白百合園
- みのりスマイル(就労)
- 総合相談支援 M・プラザ HIJ I
- 障がい者支援施設 白萩園
- ワークセンター「誠」(就労)
- みのり村 いち押し工房
- グループホーム みのり村
- 総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- みのり村介護・福祉タクシー
- 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」
(平成27年4月～令和2年6月)
- 認知症カフェ ふくろう茶屋
(平成28年1月～令和2年6月)

障がい児から就労、そして老後までの安心トータルサポート

